奈良時代

名前

問1　8世紀の日本では遣唐使がたびたび派遣され、中国の進んだ文化や制度を取り入れた国づくりが進められました。この時期に、唐の都である長安を模して、現在の奈良県につくられた都を何といいますか。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 難波京
2. 平城京
3. 平安京
4. 藤原京

問2　奈良時代末期にまとめられた、現存する日本最古の歌集である「万葉集」の編纂に深く関わったとされる、当時の代表的な歌人は誰ですか。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 藤原定家
2. 紀貫之
3. 大伴家持
4. 太安万侶

問3　奈良時代の律令制度において、土地と民衆は国家のものであるという「公地公民」の原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられた土地を何と呼びますか。（2024年 石川県公立入試 類似）

1. 名田
2. 墾田
3. 佃
4. 口分田

問4　奈良時代、平城京内にある東大寺に巨大な大仏が建立されました。聖武天皇がこのような大規模な造営活動を行った背景として、当時の社会状況をふまえた理由を説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 伝染病の流行や政治的な混乱が続いていたため、仏教の力で国を鎮めようとした。
2. 大規模な土木工事を行うことで、失業者に職を与え景気を回復させようとした。
3. 唐との国交が断絶したため、日本独自の仏教文化を新たに創造しようとした。
4. 地方の豪族たちが独自に仏教を広めていたため、中央の権威を統一しようとした。

問5　奈良時代、朝廷は命がけの航海を経て唐に使節（遣唐使）を派遣しました。留学生や僧が長期間滞在して学んだ成果を日本に持ち帰った背景には、どのような目的がありましたか。最も適切なものを選びなさい。（2019年 広島県公立入試 類似）

1. 朝鮮半島における軍事的な優位性を確保するため、唐と軍事同盟を結ぶため
2. 唐の進んだ政治制度や文化を学び、国内の律令制度を整えるため
3. 中国の皇帝から「倭王」の称号を得ることで、国内での地位を安定させるため
4. 大陸の優れた鉄資源を確保するため、軍事的な従属関係を築くこと

問6　律令国家の税制において、戸籍に登録された人々に対する土地の配布と税の負担に関する説明として、当時の制度の仕組みを正しく述べているものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. 戸籍に記載された家族のうち、労働力となる男性のみに土地が与えられ、布や特産物を納める義務が生じた
2. 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた
3. 土地の不足を防ぐため、口分田は成人した男性のみに与えられ、その代表として戸主が税を負担した
4. 6歳以上の男女に土地が与えられたが、実際に税として稲を納める義務があったのは戸主のみであった

問7　律令国家の政治組織において、天皇の下には祭祀を司る神祇官と、行政を統括する太政官が置かれました。この地方行政の仕組みにおいて、中央の都から派遣された「国司」のもとで、地元の有力な豪族が任命されて実務を担った役職は何と呼ばれますか。（2023年 岡山県公立入試 類似）

1. 防人
2. 郡司
3. 県令
4. 検非違使

問8　奈良時代から平安時代にかけての文化の形成について述べた文として、日本最古の和歌集である『万葉集』の特色をふまえた適切なものはどれですか。（2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. 全編が漢文で記された日本最古の漢詩集であり、当時の唐風文化の影響を強く受けている。
2. 防人の歌などが収録されており、都の貴族だけでなく地方の人々の生活や感情も反映されている。
3. 天皇の命令によって初めて編纂された「勅撰和歌集」であり、平安時代の国風文化の先駆けとなった。
4. 武士の台頭を背景に、力強く素朴な感情を詠んだ歌が中心となっている。

問9　奈良時代の文化と政治に関連して述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 道元が伝えた禅宗の影響を受け、聖武天皇が東大寺に大仏を安置した。
2. 藤原頼通が東大寺の大仏を造立し、華やかな国風文化の象徴とした。
3. 聖武天皇が東大寺を建立し、仏教による国家の安定を目指した。
4. 足利義満が金閣を建立した時期に、聖武天皇が全国に国分寺を建てた。

問10　743年に「墾田永年私財法」が施行されたことにより、その後の日本の社会に現れた大きな変化として正しいものはどれか。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。
2. 土地の私有化が進んだ結果、米で納める「租」の制度が廃止され、全ての税が貨幣で納められるようになった。
3. 天皇による直接支配が全国の隅々まで行き渡り、武士という新しい階級が登場する余地がなくなった。
4. 班田収授の法がより厳格に守られるようになり、農民の間の貧富の差が完全に解消された。

問11　奈良時代には、天皇中心の国づくりを正当化するために歴史書が編纂されました。そのうち、神話や伝説、国の成り立ちなどを中心に記した書物として正しいものはどれですか。（2021年 秋田県公立入試 類似）

1. 風土記
2. 古事記
3. 万葉集
4. 古今和歌集

問12　奈良時代、聖武天皇は仏教の教えによって国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づき、日本各地に特定の施設を設置するよう命じました。このとき、全国の国ごとに建てられた寺院の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 四天王寺
2. 建長寺・円覚寺
3. 国分寺・国分尼寺
4. 平等院鳳凰堂

問13　日本の歴史の流れを整理した年表において、律令国家の成立期と院政の開始期の間に位置し、唐の長安を模した大規模な都市計画に基づいて建設された都について述べた文として、最も適切なものを選択しなさい。（2021年 静岡県公立入試 類似）

1. 聖武天皇が仏教による国家の安定を願って、一時的に山城国に遷した都である。
2. 持統天皇によって建設された、中国の都を模した日本初の本格的な都城である。
3. 710年に元明天皇が藤原京から奈良に遷都し、律令政治の拠点とした。
4. 794年に桓武天皇が新しい政治を求めて、京都の地に建設した。

問14　奈良時代の律令制度において、地方の特産物である絹や布、あるいは各地で採れる海産物などを中央の都（平城京）まで運び、納めることが義務付けられていた税を何というか。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 租
2. 庸
3. 調
4. 雑徭

答え合わせ・解説

問1	答え 2 平城京	710年に元明天皇によって遷都されたこの都は、唐の国際的な文化の影響を強く受けて設計されました。碁盤の目状に区画された「条坊制」が敷かれ、シルクロードを通じた西域の文化も流入しました。平安京は794年に京都に遷された都であり、藤原京は平城京の前に存在した日本初の本格的な都城です。
問2	答え 3 大伴家持	奈良時代の天平文化を代表する『万葉集』は、大伴家持が最終的な編纂に大きく関わったと考えられています。選択肢にある紀貫之は平安時代初期の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代初期の『新古今和歌集』の編纂者として知られており、混同しないよう注意が必要です。太安万侶は『古事記』を記録した人物です。
問3	答え 4 口分田	律令制度のもとでは、全ての土地と人民を天皇が支配するという公地公民の原則がとられていました。これに基づき、班田収授法によって戸籍に登録された人々に一定の土地が割り当てられ、収穫の約3%を「租」として納める義務が課されました。この土地は本人の死後に国へ返還することとされていました。
問4	答え 1 伝染病の流行や政治的な混乱が続いていたため、仏教の力で国を鎮めようとした。	当時は天然痘の流行や、貴族・皇族間の政治的な争いが絶えず、社会不安が広がっていました。聖武天皇は、仏教の力によって国家の災いを取り除こうとする「鎮護国家」の思想に基づき、都に東大寺、諸国に国分寺・国分尼寺を建立するよう命じました。これは単なる宗教活動ではなく、国家の安定を図るための重大な統治政策の一環でした。
問5	答え 2 唐の進んだ政治制度や文化を学び、国内の律令制度を整えるため	当時の日本は、唐の進んだ国家体制をモデルとして、天皇を中心とした中央集権的な国家づくりを進めていました。そのため、使節と共に送られた留学生や僧は、現地の優れた政治制度や律令、仏教文化などを深く学び、帰国後に日本の律令制度の整備や文化の発展に大きく貢献しました。一方、称号を得ることで権威を強めようとしたのは、より古い時代の外交の特徴です。
問6	答え 2 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた	班田収授法の特徴は、戸主などの代表者だけではなく、戸籍に登録された「6歳以上の男女」一人ひとりを対象に土地（口分田）を割り当てた点にあります。政府は戸籍を通じて民衆を個人単位で把握し、性別や身分に応じた面積の土地を与える代わりに、収穫物から「租」を徴収することで、国家の安定した財政収入を確保しようとしました。
問7	答え 2 郡司	律令国家の地方支配は、国・郡・里という単位で行われました。中央から派遣された国司が「国」の政治を監督し、その下の単位である「郡」では、地元の状況に詳しい豪族が「郡司」に任命されて、租税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。これにより、中央政府の命令を地方の末端まで浸透させようとしました。
問8	答え 2 防人の歌などが収録されており、都の貴族だけでなく地方の人々の生活や感情も反映されている。	万葉集は、特定の特権階級だけでなく、九州の沿岸警備にあたった防人や、名もなき民衆の歌が収められている点に歴史的価値があります。これは、奈良時代の文化が都だけでなく地方とも関わりを持っていたことを示唆しています。なお、最初の勅撰和歌集は平安時代の『古今和歌集』であり、日本最古の漢詩集は『懐風藻』です。
問9	答え 3 聖武天皇が東大寺を建立し、仏教による国家の安定を目指した。	東大寺の建立と大仏の造立は、奈良時代を代表する聖武天皇による事績です。藤原頼通は平安時代に平等院鳳凰堂を建てた人物であり、足利義満は室町時代の将軍です。また、禅宗が日本に広まるのは鎌倉時代以降であり、奈良時代の仏教は「鎮護国家」という国家を保護する性格が強いものでした。
問10	答え 1 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。	土地の私有が認められたことで、豊富な資金や労働力を動員できる有力な貴族や寺院がこぞって開墾を進めました。これが「初期荘園」の形成につながり、国家が直接土地と人民を支配する体制が徐々に形骸化していくことになりました。
問11	答え 2 古事記	天武天皇が編纂を命じ、712年に完成した歴史書です。帝紀（天皇の系譜）や旧辞（伝承）を整理し、神代から推古天皇までの出来事を記しています。一方、「風土記」は各地方の地理や産物、伝承をまとめたものであり、「万葉集」は同時期の和歌集、「古今和歌集」は平安時代に成立した勅撰和歌集であるため、内容が異なります。
問12	答え 3 国分寺・国分尼寺	聖武天皇は、当時流行していた天然痘などの伝染病や政治的混乱、災害といった社会不安を払拭するため、仏教の力で国を守ることを目指しました。そのため、全国各地（当時の行政単位である国ごと）に、僧侶が修行する国分寺と、尼僧が修行する国分尼寺を対にして建立させました。これらは地方における仏教信仰と国家統治の拠点となりました。
問13	答え 3 710年に元明天皇が藤原京から奈良に遷都し、律令政治の拠点とした。	律令体制を強化し、天皇を中心とする中央集権国家を完成させるために、大規模な遷都が行われました。この時期は国際色豊かな「天平文化」が栄え、遣唐使を通じて大陸の文化が数多くもたらされたことも特徴です。
問14	答え 3 調	律令制度における租税のうち、絹・布・海産物などの特産物を納めるものが「調」です。これに対し、田の収穫から約3%の稲を納めるものは「租」、都での労役（歳役）の代わりに布を納めるものは「庸」と呼ばれます。調と庸は、納税者が自ら都まで運ぶ負担（運脚）も伴っており、国家の財政を支える重要な財源でした。